

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2017 年 8 月 21 日

～住まいは子育てのために～

第 11 回キッズデザイン賞を受賞

- 第 1 回 から 11 年 連 続 受 賞、通 算 受 賞 点 数 は 46 点 に
- 子育てに忙しい共働き夫婦を応援する戸建住宅「Familink ZERO」が受賞
- ママ社員の新たな活躍の場「マミーズプロジェクト」や保育園も受賞

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、第 11 回キッズデザイン賞※1（主催 特定非営利活動法人キッズデザイン協議会／後援 経済産業省、消費者庁、内閣府）において、子育て中の共働き夫婦を応援する木質系戸建住宅「Familink ZERO」など計 5 点を受賞しました。これにより、第 1 回から 11 年連続での受賞となり、通算受賞数は 46 点となりました。

ミサワホームは、これまで「住まいは子育てのために」という信念のもとに商品を開発し、子育てにおいて“家にできること”を真摯に考え、住まいづくりに取り組んできました。今回は戸建住宅や保育園のほか、保育園などでの設置を想定した安全設計の建具や仕事と家庭の両立を目指したママ社員の新たな活躍の場「マミーズプロジェクト」が受賞しました。

ミサワホームは今後も子どもの安全・安心と健やかな成長に貢献するための研究・開発に努めていきます。

【受賞作品】

- ・子育て中の共働き夫婦の暮らしを応援する木質系戸建住宅「**Familink ZERO**」
- ・仕事と家庭の両立を目指したママ社員の新たな活躍の場「マミーズプロジェクト」
- ・“微気候デザイン”※2により快適な保育環境を実現した認可保育園「コビープリスクールつなしま」※3
- ・園児の安全や好奇心に配慮したスロープが印象的な認可保育園「コビープリスクールしゃくじいだい」※3
- ・保育園などでの設置を想定し開発した安全設計の建具「自動ドア」※3



※1：子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン、子どもたちを産み育てやすいデザインに対する顕彰制度です。

※2：自然の光や風などを有効活用することで、一年を通して快適に過ごせる住まいづくり・まちづくりのための設計手法。

※3：他企業との共同受賞です。

■「Famalink ZERO」(子どもたちを産み育てやすいデザイン部門／プロダクトカテゴリー)

ZEH^{※4}に対応した、子育て中の共働き夫婦の暮らしを応援する木質系戸建住宅です。家族の「つながり」を意識し、吹き抜けを中心に家全体に家族の気配が伝わる設計とし、階段横のライブラリーや2階のファミリールームなど、一人ひとりの居場所と家族が交わる「リンクスペース」を家の中に点在させています。また、「安全・安心」の観点から、新たに子どもの家庭内事故を防ぐためのチャイルドロック付き建具や収納を開発し、スライド式収納家具にチャイルドゲート機能を持たせた「キッチンスライドゲート」^{※5}とともに採用しました。さらに、子育てや仕事の時間を増やすため、キッチンと洗濯スペースを近接させ、洗面所内に部屋干しコーナーを設けるなどの工夫で、家事の時間の大幅な短縮「家事ラク」を実現するなど、子どもの成長と家族をサポートする提案を多数盛り込みました。

※4：高い断熱性能をベースに、高効率機器や HEMS による省エネ、太陽光発電などによる創エネを組み合わせることで、住まいの年間一次エネルギー消費量が正味おおむねゼロになる住まい。

※5：2016 年キッズデザイン賞受賞。



大屋根を生かした
吹き抜けのあるリビング



チャイルドロック付カウンター収納

■「マミーズプロジェクト」

(子どもたちを産み育てやすいデザイン部門／コミュニケーションカテゴリー)

住宅営業を経験後、ママとなった女性社員が、これまでのスキルを生かして、いきいきと働き続けるために始動した社内プロジェクト。お客さまとのコミュニケーションを通し、お客さまご家族の住まいをつくり上げることにやりがいをもつ女性営業社員が多くいることに着目し、時短勤務でも活躍できるママ営業チームとして発足しました。ひとりのお客さまにひとりの営業担当というスタイルではなく、子どもの体調不良などで仕事を休んだり、早退する場面でもフォロー可能なチーム体制とし、特設サイト「MOMMY'S」や Facebook といった拡散力の高い SNS を介した情報発信のほか、平日の昼間に開催する親子参加型イベントを通じた独自の集客活動をしています。

今年3月には、イベントを通して出会った子育て中のママのリアルな意見を反映させた分譲住宅を企画・販売しました。

「ママだからできない」ではなく、「ママだからできる」を合言葉に今後も活躍の場を広げていきます。



プロジェクトメンバー



分譲地でのイベントの様子

■「コビープリスクールつなしま」

(子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門／建築・空間カテゴリー)

株式会社コビーアンドアソシエイツ（本社 千葉県野田市／代表取締役社長 小林照男）が運営する認可保育園です。ミサワホームが園舎設計を担当、「木質パネル接着工法」を採用しています。

敷地条件を最大限に生かす三角形の建物形状とし、都市部の住宅地でありながら、自然の光や風を有効活用する“微気候デザイン”を採用することで快適な保育環境を実現しました。園舎の中心に配置した大ホールを吹き抜けとしたほか、各部屋の仕切りに移動や着脱が容易なパーテーションを採用することで、空間を緩やかにつなぎ、年齢の異なる園児たちの交流を促します。また、近隣に配慮した遮音性の高い設計を行うとともに、周囲と調和する外観デザインとしました。

※コビーアンドアソシエイツとの共同受賞。



広いウッドデッキと開放感のある園庭



自然光があふれる大ホール

■「コビープリスクールしゃくじいだい」

(子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門／建築・空間カテゴリー)

コビーアンドアソシエイツが運営する認可保育園で、ミサワホームが園舎設計を担当しました。

受け入れ年齢を0～2歳児に限定した保育園としてさまざまな配慮を施しました。上下階の移動には階段でなく、スロープを採用することで安全面を確保しながら、途中で季節やまちの変化を感じる大開口や彩り豊かなアートウォール、本棚を設置するなど、移動距離を利用して好奇心を膨らませる仕掛けを多数盛り込みました。また、園児の変化にいち早く気付けるよう、園舎の中心に職員室を配置し、エントランスや各保育室、スロープを見渡しやすい空間構成としました。さらに、各所にガラスの間仕切りを設置することで、全方位からの見守りを実現しています。

※コビーアンドアソシエイツとの共同受賞。



季節やまちの変化を感じる大開口



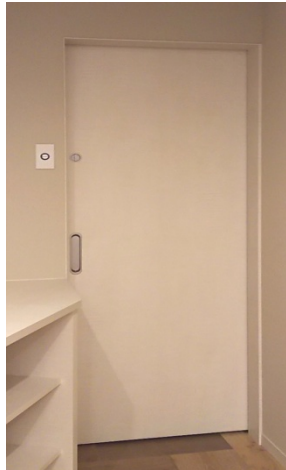
スロープを見守るスリット窓と
吹き抜けのある大教室

■子どもたちの安全・安心に配慮した建具「自動ドア」

(子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門／プロダクトカテゴリー)

保育園などへの採用を想定し、園児の安全性の確保と保育士の利便性を両立させた自動ドア。園児の手の届かない高さに設置したタッチスイッチでドアを開けるため、いたずらや園児だけでの入退出のリスクを抑えられるほか、一定時間が経つと自動で閉まる設計のため、ドアの閉め忘れの心配もありません。園児が寝ているときの開閉も気にならない静音設計や通過中に全開を保持する補助センサー、扉が閉まる途中に園児や物などに当たった際はすぐに全開に切り替えるセーフティリターン機能なども採用しています。

※ウチヤマコーポレーション株式会社（本社 東京都港区／代表取締役社長 内山恵三）との共同受賞。



設置事例



タッチスイッチ

以上

＊この件に関するお問い合わせ先＊

ミサワホーム(株) 経営企画部コーポレートコミュニケーション課

中田義規 佐野遥香

TEL : 03-3349-8088 FAX : 03-5381-7838

E-Mail : Haruka_Sano@home.misawa.co.jp